

第1回 菊陽町役場庁舎等整備検討委員会

議事要旨

日 時：令和6年7月11日（木）13時30分～15時30分

場 所：菊陽町役場防災センター2階 災害対策本部室

出席委員：出席15人、欠席0人

委員名簿：別紙のとおり

次第：

【1 開会】

【2 委嘱状交付】

【3 町長挨拶】

【4 委員紹介】

【5 概要説明】

【6 会長、副会長選出】

- ・ 会 長 田中委員（早稲田大学教授）
- ・ 副会長 森山委員（熊本高等専門学校教授）

【7 議事】

第1章 現状と課題

→資料を基に事務局より内容説明

（委員）手続きの多い時期などは、駐車場が空いていないことがある。

（委員）今後更に、車での来庁者が増える可能性があると思うが、現在の庁舎側と公民館側の駐車台数と不足状況について教えてください。

→（事務局回答）役場の来庁者用駐車場は南側北側合わせて約100台程度確保しており、職員が主に使用している仮設駐車場は約260台確保しています。中央公民館前の駐車場は約100台で、イベント時等の場合には、不足することがありますが、平常時の駐車場台数は、ほぼ足りている状況です。庁舎側近くに駐車できない場合に、不満を感じる人もいます。

（委員）庁舎は老朽化が進み、職員が体調を崩した時などに休憩できる場所が不足していることも町民として把握している。体調不良の際に休む場所がないのは問題。職員の方が働き

にくいと感じているような意見や声が、現在上がっていないのか。

→（事務局回答）庁舎の老朽化と狭さが問題となっており、休憩場所も不足しています。職員からの具体的な声は上がっていませんが、そのような意見があることは理解しています。

（委員）職員の意見を聞くプロセスが、今後必要だと思う。

（委員）現在の防災センターの機能について教えてください。

→（事務局回答）防災センターは、3階建てで、1階は、おおよそ半分が備蓄倉庫と町民が一時避難できる部屋などがあり、2階は、災害対策本部室と災害対応時に使う部屋などで、3階は執務スペースが主となっております。

（委員）中央公民館については、換気扇や水廻りも老朽化しており、建て替えを検討すべき時期と感じている。民間利用者が多く来る時は、駐車場が不足することもある。

第2章 町の現状と今後の見通し

第3章 課題の解消に向けた方策

第4章 施設の複合化

第5章 庁舎等整備対する町の方針案

→資料を基に事務局より内容説明

（委員）複合庁舎の新築について、仮定の費用であり、具体的な設計は、まだ行っていないとのことで理解して良いか。

→（事務局回答）現段階で設計等は行っておらず、正確な額を出すことができないことから、整備費の比較検討をして頂く為に、一般的な概算工事費の目安として、他自治体の近年の庁舎建設事例を参考に、1㎡あたりの概算工事費を一般的なものとして想定して算出したものです。今後の方針決定後に設計業務に入りますので、その時に具体的な整備費の算定を行って参ります。

（委員）現在の庁舎西側に仮設駐車場、その北側に総合運動場があるが、そういった周辺の敷地を活用して、建て替えや駐車場を確保する計画を考えてはどうか。そうすることで、庁舎を建設する場合は、費用が無駄にならぬよう仮設庁舎を建てない計画を検討し、建設中も職員が、業務をそのままできるような案は、検討しないのか。

→（事務局回答）庁舎建設となった場合は、現在の庁舎敷地だけでは、面積が足りない状況にありますので、今回の整備に当たり、主な計画場所は、現在の庁舎敷地を基本としておりますが、ご意見頂きました通り、庁舎周辺の町有地も有効活用した上で、配置を検討して行きたいと考えております。工事費に関しても可能な限り抑えるため、仮設庁舎は、可能な限り建設しない方向で検討し、できるだけ事業費を抑えたいと考えております。

（委員）高齢者も行きやすく、利用しやすい仕組みなどを考慮した庁舎を計画してほしい。

(委員) 子育て支援も含め、バリアフリーの観点で、費用も抑えた設計としてほしい。

(委員) 新庁舎には再生可能エネルギーの導入を検討してほしい。

→ (事務局回答) 環境配慮やユニバーサルデザイン、事業費も含め、しっかり検討し進めて参ります。

(委員) 今回の説明では、既存の庁舎と中央公民館を改修して、現状不足している面積分を増築によって補う案があり、検討したところライフサイクルコストの観点で新築よりも劣るということで、複合庁舎を単独で新築する事が合理的であるという話になっている。それも一案だと思うが、それ以外にも、庁舎は新築で造り、中央公民館と健康保険センターについては、既存の庁舎本館約 3500 m²を大規模改修し、その建物を活用してはどうか。既存の庁舎本館は、躯体の老朽化や熊本地震の影響などの検討と、設備の更新が必要となるが、躯体の対応年数には、まだ達してないと見えるので、今後町が成長していく中で、中央公民館と健康保健センターについては、既存庁舎本館を改修することで、上手く活用しながら、今後 20 年ぐらい経ったところで、その時のニーズや変化に応じて建て替えるといった『庁舎』と『中央公民館・保健センター』を切り離した考えもあり得ると思う。

『庁舎新築＋中央公民館と健康保健センターを今の庁舎本館を改修し活用する案』の可能性についても、検討して頂きたいと思う。防災センターとも繋がり、上手く全部が繋がり意外と上手くいくのかもしれないと思う。使えるものは、まだ使っていくことが、時代にも合っていると思う。

→ (事務局回答) いただいた意見を整理し、次回の会議で報告します。

【8 その他】

(事務局) 本町が、役場庁舎等の整備に関し検討を始めたことを受け、熊本県から「県事業のくまもとアートポリス事業を活用しませんか」という提案が上がっております。この件については、検討委員会の皆様のご意見を伺った上で判断したいと考えております。その為、次回の検討委員会に、熊本県の担当の方々に出席いただき、くまもとアートポリス事業について説明して頂き、委員の皆様のご意見を頂戴したいと考えております。

【9 閉会】